

令和6年度 三隅まちづくりセンターの主な取組

事業名

夏休み自習室解放事業

P

●事業実施に至った背景、目的

長期休み期間、児童クラブに通っていない児童が家で1人で昼食を食べていたり、子どもだけで安全に遊んだり勉強したりする場が少なくなっている現実がある。

- ・誰でも気軽に立ち寄ることができ、子どもも保護者も安心できる居場所づくりを目指す。
- ・保護者とのつながりを広げていく。
- ・地域のボランティア等も依頼し、子ども、保護者層、高齢者層等、異世代の交流をはかる。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・勉強の見守りや企画をしてくれるボランティアの募集や依頼。各企画打ち合わせ。
- ・自習室のルール、一日のスケジュール、期間中のスケジュール作成。
- ・小中学校に自習室のチラシ配布（申込者はライン登録必要）

D

●事業の概要

7/22～8/30までの夏休み期間中、自習室を解放（解放日29日間、延べ人数648人）

- ・7/25、8/9、8/22……子ども食堂
- ・7/29……子ども陶芸教室
- ・8/7……センター窓そうじ
- ・8/8……そうきん作り
- ・8/27……eスポーツ大会
- ・8/30……花火大会（台風のため中止）

ボランティア数（地域：15名、中学生1名、高校生1名）

C

●事業実施後の振り返り

ボランティアさんの協力があり、子ども食堂、そうきん作り等の企画を実施することができた。1日平均20人以上の児童が自習室を利用し、学習、遊び、昼食等、友だちと共に過ごすことができたが、人数が増えていく中で、見守りのボランティアの方が十分ではなかった。

A

●令和7年度以降の方向性

長期休み期間の居場所づくりは、保護者、子ども達にとっても大変ニーズの高いことだと感じた。今年度つながりが広がった保護者やボランティアさんの方にも協力してもらい、更に来年度は見守りのボランティアができる方も増やし、継続して自習室の解放を実施したい。

